

- ① ^{ぶん} ^よ 文を読みながら「は・ひ・ふ・へ・ほ」に○（まる）をつけましょう。

おしりのかたちのかおでおなじみのおしりたんていは、にせんじゅういちねんにあいぱっどのこどもむけのえほんあぶりとしてとうじょうしました。

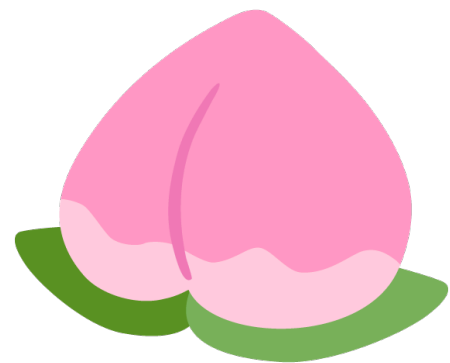
にせんじゅうはちねんからは、えぬえいちけいで、おしりたんていのてれびあにめがほうそうされはじめました。ものがたりでは、おしりたんていのじょしゅのぶらうんとともに、さまざまななんじけんをかいつしていきます。

おしりたんていのくちぐせは「ふーむ、においますね。」です。また、はんにんをおいつめるときのひっさつわざとして「しつれいこかせていただきます。」とって、きょうれつなにおいをはなちます。

- ② それぞれの^{かな} ^{かず} ^{かぞ} 仮名の数を数えて、^{すうじ} ^か 数字を書きましょう。

は	ひ	ふ	へ	ほ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ③ ^{なに} 何について書かれた文でしたか？^{おし} 教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい）課題プリント その9 - は行編

答え ② は：8 ひ：1 ふ：1 へ：0 ほ：2

③ おしりたんていについて書かれた文。など